

事業所名

発達支援センタージョイナス(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

2025年

3月

10日

法人(事業所)理念		地域で生活する全ての一人一人が“かけがえのない存在”として自分の選択を実現し、笑顔で生活できるよう福祉サービスの提供に努めて参ります							
支援方針		①お子さま1人1人に合った専門的療育メニューの提供 ②専門性の高い個別対応メニューの提案(小グループクラス・就学準備クラス等を除く) ③専門的小グループメニューの実践(国家資格者作成の専門性の高いプログラム/メニュー表のお渡し/毎月毎の見学及び解説会/ご家庭での実践サポート) ④保護者様への丁寧なサポート体制及び地域連携の重視 ⑤将来の自立・自律を見据えた支援							
営業時間		10 14	時 0 0	分から 12 18	時 0 0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	①持病や特性の把握(特性に応じた環境設定や対応/緊急時対応について保護者と情報を共有/研修の実施) ②健康状態の把握(来所持の検温・本人を視診・保護者からの聞き取り) ③療育環境の整備(視覚的表示・療育の流れの構造化など) ④健康状態に応じた個別対応及び保護者様との連携(通所開始時の聞き取り→救急隊員への申し送り状作成→てんかん発作など個別対応)							
	運動・感覚	①個々のお子さまの感覚特性の把握・対応(感覚過敏・感覚鈍麻・聴覚過敏など) ②姿勢・体幹・バランス感覚の把握・向上に向けた支援/安全に過ごすことへの意識付け ③粗大運動・微細運動能力の把握・向上に向けた支援 ④感覚統合を進める(ボディイメージの保持/保有する感覚を刺激する遊び…例)粘土や新聞遊び/前庭感覚・固有感覚・触覚・嗅覚・温冷感覚等を高める)							
	認知・行動	①個々のお子さまの認知・行動の偏りや特性の把握 ②行動や認知の偏り等に合った支援(例:視覚優位のお子さまに効果的視覚表示を多用して支援を行うなど) ③基本的認知概念の習得(大小・形・色弁別・形・重さ・順番・重い軽いほか) ④外部環境・対象の正確な認知と適切な行動への支援(受け入れられる範囲を広げていく支援・対人関係の距離感など)							
	言語 コミュニケーション	①自分・他者の理解(呼ばれた方向に向く・返事をする・自分の名前の理解・身近な他者の理解・療育時の先生や友達との理解) ②言葉・コミュニケーション能力の習得(発語→要求語など段階を追って/絵本の活用・ごっこ遊び・好きな遊具で遊ぶ・遊具の貸し借りなど) ③読み書き能力向上の為の支援(読み書き困難の特性については早期に把握→専門機関の紹介/読み書き困難の特性に応じた支援) ④(例:言語聴覚士による構音練習など) 専門職による専門的な支援							
	人間関係 社会性	①アタッチメントの形成 ②一人遊びから集団遊びへの支援 ③園や学校などでの集団参加の為の支援 ④ソーシャルスキルトレーニングによる支援(教材による共同学習/園や学校での出来事を振り返る中での社会性の習得→どうしたら良かったかな?など)							
家族支援		①療育送迎時の申し送り ②子育てサポートを通じた家族支援 ③参観や個人面談時の支援				移行支援		①移行予定先と援助方針や支援内容等の共有 ②就学に向けた移行支援の実施 →保護者の希望に沿った支援を行う	
地域支援・地域連携		①相談支援事業所・並行通所事業所との緊密な連携 ②教育機関(園・学校・学童等)との緊密な連携 ③医療機関・保健所・子ども家庭センター・児童相談所等との緊密な連携 ④保育所等訪問支援を通してのより緊密な連携				職員の質の向上		①計画的な内部研修・外部研修の実施 →年間参加目標回数を設定 ②専門職・外部講師による研修の実施 ③東京都や区が主催する研修への積極的参加	
主な行事等		①イベント: 5月(こどもの日) 8月(夏祭り・料理教室) 10月(ハロウィン) 12月(クリスマス会) 1月(書初め・抹茶体験) 3月(卒園・入学・成長祝う会) ②祝日: ビジントレーニング・工作教室など ③保護者参観(GW・夏休み・年末などフルタイム勤務の保護者が参加しやすい時期に実施) ④就学説明会(年中保護者向け/毎年2月中旬/各教育委員会が行う就学相談についての説明・相談会)							